2011 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長　　中塚　哲
（中川特殊鋼㈱）

企画委員会では日本ボンド磁性材料協会の事業の一つであります国内及び海外でのボンド磁石の生産・市場動向を調査報告しています。会員会社から投票された国内・海外の生産実績と、例年 12 月に開催している世界ボンド磁石討論会での情報をもとに、企画委員会で生産重量及び金額の推定値を算出しています。

国内生産

1. まとめ

２０１１年の国内生産は、フレキシブルボンド磁石とリジッドボンド磁石では２０１０年と同等レベル、希土類ボンド磁石では重量で前年比１７%程度の増加と推定。

2. フレキシブルボンド磁石

２０１１年の国内生産は２，６００トン（前年比１００%）、金額で１９億円（前年比１００%）と推定。主な用途はマイクロモーター巻き込み式ボンド磁石とマグネットシートの２つあり、震災は後者の減産に、タイの洪水は前者の減産に影響を与えたが、それぞれ回復し、通年合計では前年比１００%まで持ち直した。
今後は、モーター分野で中国メーカーの価格が正規のコスト計算で見直されるようになってきていること、及び高磁気特性・高耐熱性など高付加価値品を日本国内で生産すること等々で日本メーカーの巻き返しの動きが見られる。

3. リジッドボンド磁石

２０１１年の国内生産は６、８００トン（前年比９７%）金額で１０２億円（前年比９７%）と推定。
震災とタイ洪水のダブルパンチは、通期では後者の処理遅れが影響し、生産量と金額共に前年比９７%の結果となった。

4. 希土類ボンド磁石

２０１１年は、後半のレアアース原材料価格高騰に影響された磁石生産価格変動のため生産金額推定が困難となり、重量の推定だけに留め､国内生産量は７００トン（前年比１１７%）と推定。これは、震災とタイの洪水の影響を受けながらも、ＯＡ分野（プリンタ用）車載用（メータ・センサー）の増加がそれを上回ったものと見られる。

日系メーカーの海外生産金額

２０１１年の日系メーカーの海外生産金額は下表の通りである。希土類ボンド磁石は、国内と同様に後半のレアアース原材料価格高騰に影響された磁石生産価格変動のため生産金額推定が困難となり、重量の推定だけに留め、３，３００トン（前年比９７%）と推定した。

フレキシブルフェライトボンド磁石　　単位：トン／年、百万円／年

	生産（重）量	前年比	金額	前年比
２００８年	３，６１０	９１%	２，７４０	９０%
２００９年	２，５３０	７０%	１，９３１	７０%
２０１０年	２，６００	１０３%	１，９００	９８%
２０１１年	２，６００	１００%	１，９００	１００%

リジッドフェライトボンド磁石　　単位：トン／年、百万円／年

	生産（重）量	前年比	金額	前年比
２００８年	８，１００	８３%	１１，９０７	８２%
２００９年	５，６７０	７０%	８，４００	７１%
２０１０年	７，０００	１２３%	１０，５００	１２５%
２０１１年	６，８００	９７%	１０，２００	９７%

希土類ボンド磁石　　単位：トン／年、百万円／年

	生産（重）量	前年比	金額	前年比
２００８年	５２０	８７%	８，７００	９０%
２００９年	３６０	６９%	５，７６０	６６%
２０１０年	６００	１６７%	９，７００	１６８%
２０１１年	７００	１１７%	―	―

日系メーカーの海外生産金額　　単位：百万円／年

	フレキシブル	リジッド	希土類	合計
２００８年	１，２５０	９，１００	２６，０００（３，０００トン）	３６，３５０
２００９年	５００	４，２００	１８，２００（２，０００トン）	２２，９００
２０１０年	５００	９，５００	３０，０００（３，４００トン）	４０，０００
２０１１年	５００	９，５００	―　　（３，３００トン）	―